



# 緊急地震速報とは？

地震による大きなゆれがやってくる前に、地震の発生を知らせてくれる報知システムです。

地震発生後、震源近くの地震計が地震波をとらえ、ただちに決定した震源位置、地震規模(マグニチュード)が気象庁から利用者(愛工大)に配信され、震度と地震波の到達時刻を計算し予想するものです。

愛知工業大学では、八草・自由ヶ丘・本山キャンパスで震度5弱以上の地震が予想された場合、屋外スピーカー・室内放送を通じて学生・教職員に地震の発生を知らせます。

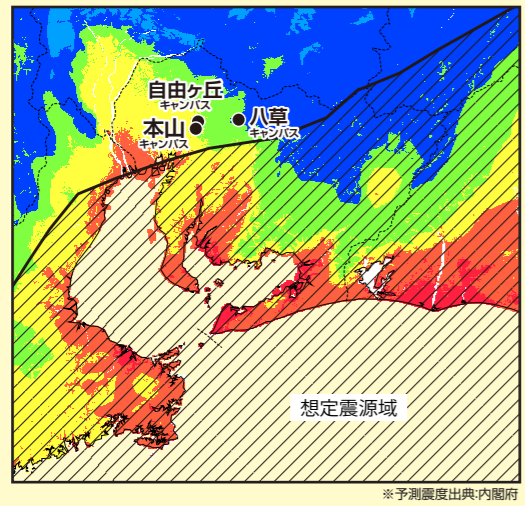


## 緊急地震速報には限界があります！

緊急地震速報には、次のような限界があることをよく理解して行動しましょう。

- ◎ 誤報が流れることがあります。
- ◎ 震度は予想値です。
- ◎ 緊急地震速報が報知されない場合や、間に合わない地震もあります。

## 南海トラフ巨大地震の震度分布図



南海トラフ巨大地震が発生した場合、本学では震度5弱以上のゆれが予想されます。各自の家のゆれを左図で確認しましょう。

震度	
7	耐久性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある
6 強	はわないと動くことができない
6 弱	立っていることが困難になる
5 強	物につかまらないと、歩くことが難しい
5 弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる
4	電灯などのつり下げ物は大きく揺れる

※予測震度出典:内閣府 ※気象庁 / 震度と揺れ等の状況(概要)より



# 緊急地震速報と避難マップ

### 緊急地震速報

**緊急地震速報により震度5弱以上と予想された場合**

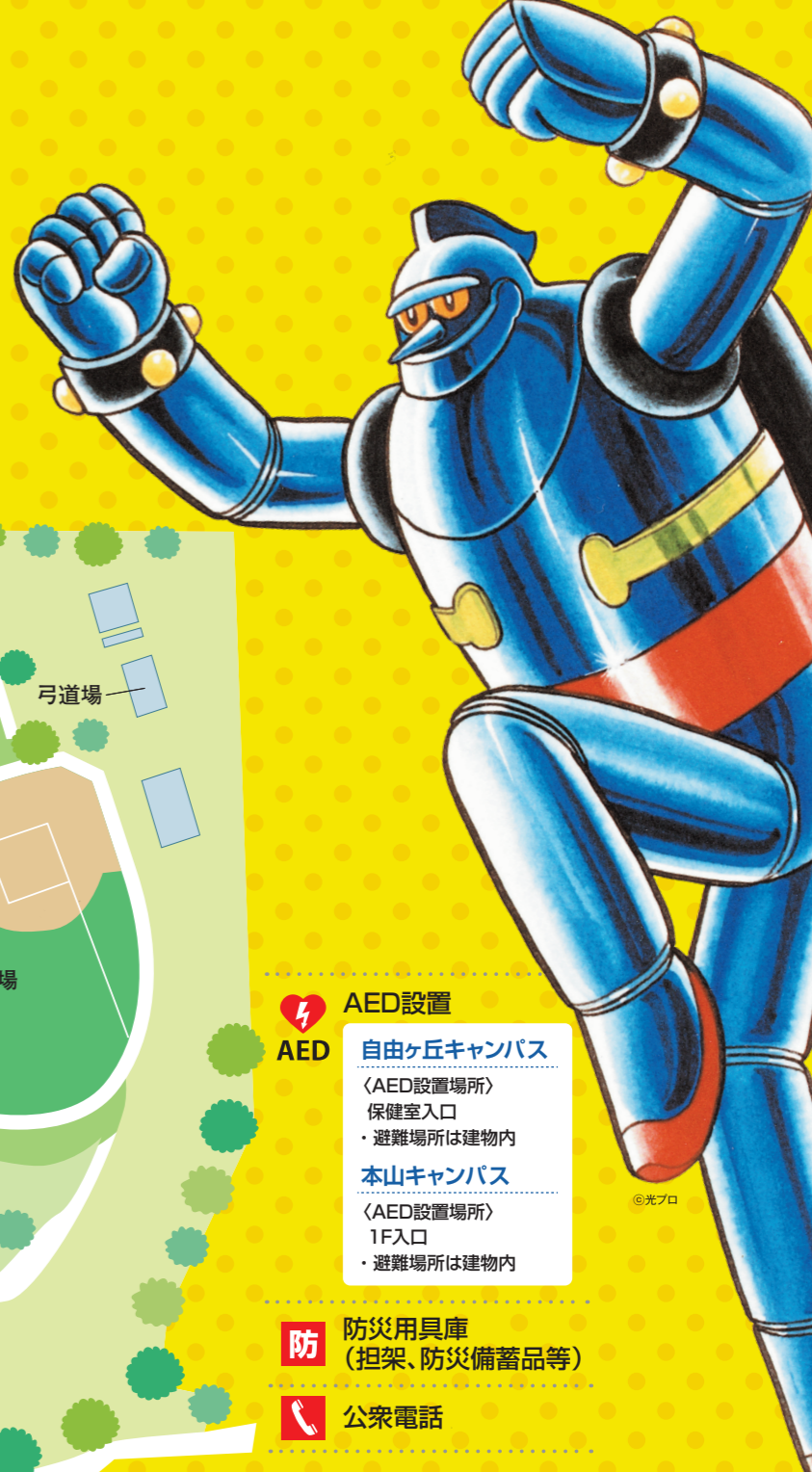
緊急地震速報により、それぞれのキャンパスにおいて震度5弱以上のゆれが予想された場合には、防災放送設備が自動的に起動し、全学一斉に「サイレン」が2秒間2回鳴り、引き続き「地震がきます」の緊急放送が流れます。

八草キャンパスだけではなく、自由ヶ丘キャンパス、本山キャンパスにも「緊急地震速報」を導入しています

**AIT 愛知工業大学**  
 〒470-0392 愛知県豊田市八草町八千草1247  
 TEL (0565)48-8121(代表)  
 URL <https://www.ait.ac.jp>

**DPREC 地域防災研究センター**  
 Disaster Prevention Research Center  
 URL <https://dprec.aitech.ac.jp/center/>

**AIT 愛知工業大学**



- AED設置**
- AED**
- 自由ヶ丘キャンパス**  
 <AED設置場所>  
 保健室入口  
 ・避難場所は建物内
  - 本山キャンパス**  
 <AED設置場所>  
 1F入口  
 ・避難場所は建物内

- 防** 防災用具庫  
 (担架、防災備蓄品等)
- ☎** 公衆電話

# 緊急地震速報受信

ウィーウィー! 地震が来ます!

**1 大きな揺れがくる前に** ▶ **退避行動**  
 震度5弱以上と予想された場合、全学一斉にサイレンと「地震がきます」の緊急放送が流れます。

**まず身を守る**

- 1 しせいをひくく
- 2 あたまをまもり
- 3 じっとする

- 机の下など落下物に当たらない場所に身を隠す
- 転倒危険物から離れる
- 窓から離れる
- 建物から離れる
- 薬品などから離れる

**2 揺れが落ち着いたら** ▶ **避難行動**  
 自分の身が安全な範囲で、二次災害を防ぐ行動をしてください。

**火元の確認**

- 使用中の火を消す
- 火災が発生したら、非常ベルを鳴らし、落ち着いて消火する
- 消火が困難と判断したら、即避難

**出口の確保**

- ドア付近の人は、ドアを開け、避難経路を確保する

**機械器具・薬品などの使用停止**

- 作業中の器具・装置の停止確認
- 薬品など危険物の安全措置

**3 安全が確認できたら** ▶ **救護活動**  
 周りのみんなと声を掛け合いながら、ケガ人がいれば、協力して応急手当をしてください。

**負傷者の確認**

- ケガ人の有無を確認。ケガ人がいる場合は、応急手当をして「救護室」へ連絡
- 落下物の下敷きや閉じ込められていないか? 該当者がいたら「対策本部」へ連絡

**大学からの指示に従う**

- 館内放送や教職員の指示に従う
- 「避難場所」への移動指示がある場合は声をかけあって行動する

**4 大学と安否確認できたら** ▶ **帰宅開始**  
 対策本部からの指示にしたがって行動してください。

**帰宅準備**

- 安否確認後、学校の指示に従う
- 帰宅に関する交通情報は、「対策本部」からお知らせ
- 帰宅困難者は、キャンパス内の「避難所」へ

**安全な避難のポイント**

- エレベーターを使用せず、すみやかに指定の「避難場所」へ移動する
- 荷物は最小限に、声をかけあって集団で行動する
- ガラスの飛散した破片に注意する
- 火災が発生している場合は煙を吸わないように濡れたタオルやハンカチで口を覆う

大規模災害時には、ほとんどの公共交通機関が不通となります。徒歩で帰宅する目安は20km以内。日没後の行動は、危険です。周りの状況を確認して帰宅しましょう。また、災害時の歩行速度は約2.5km/時程度、10kmは4時間を要します。